

小学生のハンドボール指導における個人戦術の変容に関する事例研究

ーゲーム様相の分析を中心にー

銭谷 愛穂(1512044)

<序論>

○研究動機・研究目的・研究方法

筆者は、教育実習で小学校の体育の授業の難しさを感じた。特にボール運動は、複数の種目が扱われているが、その競技を経験したことのない教師は指導が難しいのではと考えた。そこで筆者が長年にわたって競技を行い、親しんだハンドボール経験を生かして、教材づくりの視点からボール運動の特徴を知りたいと考えた。そのなかでも特に教材づくりによる個人戦術の変容に注目してみていきたいと考えた。

本研究では、秋大として関わってきた「ボール遊びの集い」に参加する児童に対する筆者のゲーム指導例を取りあげ、個人戦術の変容を、ゲーム様相の分析によって明らかにする。また、実際に指導をする際に、ルール、場の設定、用具などによって子どもたちの動きに変化がみられるかを明らかにする。研究の方法として、ゲーム様相を分析することで「ボール遊びの集い」に参加する児童の中で対象者である2名（K君4年生男子／Y君4年生男子）の個人戦術がどのように変化しているかを観察していく。特に子どもたちの変化を期待して、9月から12月の間に行われた6回の活動の中でコートやゴールの高さなど用具の条件やルールを変えるなどの工夫を行うことにする。

<本論>

○事例研究・関与観察・エピソード記述について

本研究では、筆者の指導実践を事例として取り上げ、記録していく。

事例研究とは、一人もしくは複数の被調査者の変化について、詳細に記述していく研究方法である。しかし、ただデータを集積し、数理的に処理するのではない。関与観察をしながら出会ったエピソードを記述することが大切になる。関与観察するにあたっては、「関与する」・「観察する」の二重性を意識する。筆者が指導した6回の実践事例で子どもたちと関わりながら、子どもたちの変容を他者に伝えるために、あたかもその場にいるような描写で記録していく方法がエピソード記述である。

○ゲーム様相と個人戦術の変容について

実践事例を観察するにあたって、個人戦術は攻撃時のボールを持たないときの動きに着目する。5段階に分けられ、(財)日本ハンドボール協会が提示した「ゲーム様相」を基にして、「ボール遊びの集い」のゲームでみられた様相を分析していった。

事例実践として行われた6回の活動のなかで、K君とY君の個人戦術「ボールをもたない動き」に注目して観察してきた。その結果を考察についてまとめた。そこで見受けられ

対象者2名の個人戦術の変容とそれに伴うゲーム様相を以下の表1の通りまとめて示した。

表1

	K君、Y君の個人戦術の変容	ゲーム様相
1	ボールを持たないときの動きはあまりみられず、その場で味方のプレイをみている。	密集型（だんご）
2	ボールをもらうために、ボールマンの近くにいきディフェンスに守られないようにする動きがみられる。	飛び出し型（初期）
3	キーパーのボール出しに合わせて速攻にでるプレイがみられた。	飛び出し型から半ゾーン型
4	空いているスペースをみつけてボールをもらおうとしているが、ディフェンスとの間合いをうまくつかめず、近づいてしまっている。	飛び出し型
5	パスした後に、ディフェンスより前へ思いっきり走りだしていた。 空いているスペースをみつけ位置取りをしていた。	飛び出し型から半ゾーン型
6	味方の動きに合わせて、ボールがもらえる位置をとっていた。 常に前をみながらプレイする姿がみられた。	半ゾーン型

<結論>

本研究では、ボール運動からハンドボールを取り上げ、ハンドボールにおける子どもの個人戦術の変容を、ゲーム様相を分析することで明らかにすることができた。対象者であるK君、Y君の2名は、始めボールを持っていないときやパスした後にその場に立っている場面が多く見受けられたが、活動の終わりになるにつれて空いているスペースをみつけて走りこむ動きがみられた。また、アンケートにはプレイをしながら意識的に行っていることが分かる記述がされていた。そして、パスをした後にもう一度走りながらボールをもらおうとする動きが増えた。ゲームの中でランパスがみられるようになったことで、ゲーム様相が大きく変化していった。上記の表に記されているように個人戦術の変容とゲーム様相は密接に関わっていることが分かった。ゲーム様相を観察し、子どもたちが示すゲーム様相を指導者が的確に観察、分析することができれば、それに応じた指導ができるのである。また指導するにあたって、個人技術の向上、用具では、ゴールの高さの設定、ルールでは、ボール保持時間の設定やパスの有無などによってゲーム様相の発展に大きな影響を与えることが分かった。このように教材づくりの工夫による動きの変化は、他のボール運動を扱う際にも共通する重要なことであると考えられる。（引用・参考文献省略）